

住宅困窮事項申告書

1 不良住宅（住宅の不完全なことについて）

申込者の住宅は、下の欄のどの項目に該当しますか。（該当する項目の符号を○で囲んでください。）

ア	住宅が倒壊するおそれがあり、その他危険な状態にある。
イ	バラック建住宅（応急的な仮設住宅で使用材料が粗悪で極めて低質な建物をいう。）
ウ	転用住宅（倉庫物置等住宅以外の建物を転用している住宅をいう。）
エ	上記のいずれにも該当しない。

2 生活上著しく不便（生活上設備の不便なことについて）

申込者の使用している炊事場、便所、風呂の3設備は、専用のものですか。共同使用のものですか。

（下の欄の該当する項目の符号を○で囲んでください。）

ア	炊事場、便所、風呂の3設備とも共用である。
イ	上記の3設備のうち2設備が共用である。
ウ	上記の3設備のうち1設備が共用である。
エ	上記のいずれにも該当しない。

3 別居（住宅がないため、別居していることについて）

申込者と同一の生計を営む必要があるが、住宅がないために別居している人がある場合又は婚姻予約者のある場合には、下の欄の該当する項目を○で囲んでください。

ア	住宅がないため配偶者又は子と別居している。
イ	住宅がないため扶養を要する親又は弟妹と別居している。
ウ	結婚するので、同居できる住宅を探している。
エ	上記のいずれにも該当しない。

4 過密居住（住宅の狭いことについて）

現在居住している部屋は、何室ですか。（該当する欄を○で囲んでください。）

ア	1室
イ	2室
ウ	3室以上

現在の世帯人員は何人ですか。

人

畳数の合計は何畳ですか。（板の間の部屋は、畳数になおして合計してください。家具などの多少は、関係ありません。）

畳

上記の計算の結果、下欄のどの項目に該当しますか。該当する項目の符号を○で囲んでください。

ア	1人当たり1.3畳以内
イ	1人当たり1.6畳以内
ウ	1人当たり2.0畳以内
エ	1人当たり2.0畳を超えているが、15歳以上の者が3人以上で1室居住
オ	1人当たり2.0畳を超えているが、15歳以上の者を含む3人以上で1室居住
カ	左記のいずれにも該当しない。

5 立退要求（明け渡しを請求されていることについて）

申込者が現に居住している住居について立退問題がある場合は、それが次欄のどの項目に該当しておりますか。

（該当する項目の符号を○で囲んでください。）

次の欄のアとウは立退問題が裁判上（又は家庭裁判所における調停事件として）の争いになっている場合に限りますから注意してください。

ア	裁判上の判決、和解又は調停の成立により明け渡しが決定的
イ	定年退職、会社解散等自己の都合以外の理由により社宅等から立ち退くことが必要である。
ウ	立退問題につき裁判等係争中。
エ	立退き要求されている。
オ	上記のいずれにも該当しない。

裁判のあった日又は和解、調停の成立した日	年 月 日
会社等所在地	
会社等の名称	
定年退職、会社解散等の年月日	年 月 日
管轄裁判所名	裁判所
立退要求の内容	
上記に対して執ろうとしている措置	

6 遠距離通勤（通勤時間について）

世帯の主たる収入者の通勤時間又は、利用交通機関は、下の欄のどの項目に該当しますか。

（該当する項目の符号を○で囲んでください。）

通勤時間とは、徒歩、乗物をあわせた通常の通勤方法による平均所要時間をさします。

交通機関とは、鉄道、軌道、一般乗合旅客自動車、船舶その他これらに類する施設で、運賃を徴収して交通の用に供するものをいう。

ア	通常の通勤方法による片道の通勤時間が2時間以上である。
イ	通常の通勤方法による片道の通勤時間が1時間以上2時間未満で片道の利用交通機関の種類が2以上である。
ウ	通常の通勤方法による片道の通勤時間が1時間以上2時間未満である。
エ	上記のいずれにも該当しない。

7 過大住居費（家賃の高いことについて）

現に居住している住宅の家賃又は間代は、下の欄のどの項目に該当しますか。

（該当する項目の符号を○で囲んでください）

ア	住宅の家賃の月額が、月収の20パーセントを超えている。
イ	上記に該当しない。

8 村営住宅の入居申込回数

村営住宅の入居について過去に何回申し込まれましたか。下の欄の符号を○で囲んでください。

ア	3回以上
イ	2回
ウ	1回
エ	今回初めて

9 特殊事情者

申込者及びその親族に身体障害者手帳、被爆者健康手帳の所持者がある場合又は申込者が炭鉱離職者求職手帳所持者の場合は、記入してください。

	氏 名	年 齢	職 業	手帳番号
身体障害者				
被 爆 者				
炭鉱離職者				

10 その他

該当する事項がありましたら、下の欄の符号を○で囲んでください。

ア	鮫川に戻りたいが住む家がない。
イ	鮫川に勤務しているため、鮫川に住みたい。
ウ	成人雑居である。
エ	母子（父子）家庭である。

誓 約 書

- この申込書に記入した事項は、すべて事実と相違ないことを誓約します。
- この申込書に虚偽の事実を記載した場合は村営住宅入居申込みの無効処分又は入居決定の取消処分をされても異議ありません。

年 月 日

氏 名

印